

佐久建設事務所 道路事業による整備効果事例

主要地方道 諏訪白樺湖小諸線 立科町 白樺高原（防災・安全交付金（修繕）舗装修繕事業）

- （主）諏訪白樺湖小諸線は諏訪地域と東信地域を結ぶ主要な幹線道路であり、立科町や小諸市の中心部を通過する生活道路でもある。また、白樺高原等の観光地を通過する観光道路も兼ねた重要な道路である。
- 白樺湖周辺は、交通量は約2,500台/日と多く標高が約1,400mと高く、舗装の劣化が早期に進んでいたため、円滑な交通と安全の確保が求められていた。
- 平成24年度より5.0km区間について舗装修繕に着手した。



事業概要

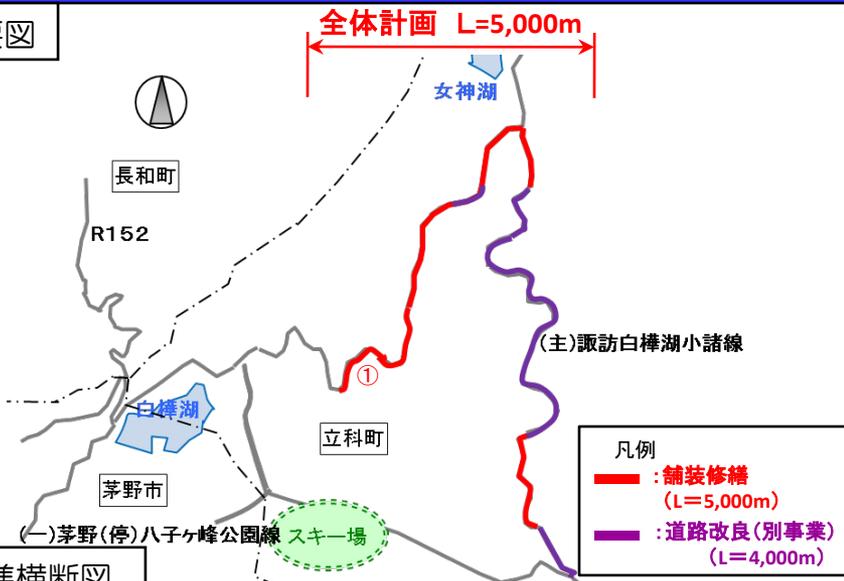
事業延長 L=5,000m
 幅員 W=5.5(7.0)~6.0(8.0)m
 事業期間 平成24年度～平成27年度
 平成27年11月 全線修繕予定

整備効果

【産業面】

- ・ 通行者の円滑な交通と安全を確保。
- ・ 白樺湖周りの観光地へのアクセス道路としての機能維持。
- ・ 通行者からの路面への苦情がゼロとなった。

概要図



標準横断面

表層 t=5cm
 路上再生路盤 t=20cm

